

令和6年度第1回山口・防府医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日 時】 令和6年8月6日（火） 19：00～19：40

【場 所】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。

1 令和6年度地域医療構想調整会議の進め方について

2 令和5年度病床機能報告結果について

3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の進め方や令和5年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。

（主な意見・質問等）

- 救急医療体制の確保は、モデル推進区域に選定された宇部・小野田医療圏だけでなく、当圏域においても喫緊の課題である。医師の高齢化に伴い、一次救急、二次救急ともに逼迫しているため、各医療機関の相互理解と協力により、現状を乗り越えていく必要がある。
- 近年、終末期における特別養護老人ホームの役割が重要になっているため、施設職員がACP（アドバンス・ケア・プランニング）等の知識を習得することで、救急医療に協力していく必要がある。このような医療と福祉の連携体制の構築について考えていただきたい。
- 特別養護老人ホーム等の施設において、ACPがしっかりと行われることで、中小病院で受入可能な救急患者が増え、三次救急病院の負担軽減につながるため、ACPの普及は非常に重要である。